

# おひさま発電 省エネつ子続々

市民からひと口3千円の寄付を集めて、太陽光発電を付ける「おひさま発電所」が全国に広がっている。主な設置場所は幼稚園や保育園。幼いころから地球の環境やエネルギーの問題に関心をもってもらおう学習の場にもなっている。保護者や近所の人たちが節水やゴミ削減にも取り組むなどの効果も出ている。省エネにつながるおひさまパワーが各地を照らしている。

(尾崎千裕)

5月中旬、京都市北区の保育園「妙林苑」で、園児や保護者ら約270人が集まり、「おひさま発電所の点灯式が開かれた。

開舎の屋上に縦80センチ、横1・4メートルの発電パネルが、3カ所に計52枚並べられている。2階のホールで電源を入れると、舞台上に飾られた約40個の青、赤、黄の豆電球が点滅を始めた。

「電気ついたよ」「おひさまの力や」「子どもたちは大喜び。

玄間近くには発電量を示す表示板も付けられた。晴天の日、フル稼働すると6個の「ト」と1個の「太陰」に明かりがともる。10メートル規模で、同

## 寄付集め、幼稚園や保育園に太陽光パネル

園の年間消費電力のうち約12%をまかなえる見込みという。

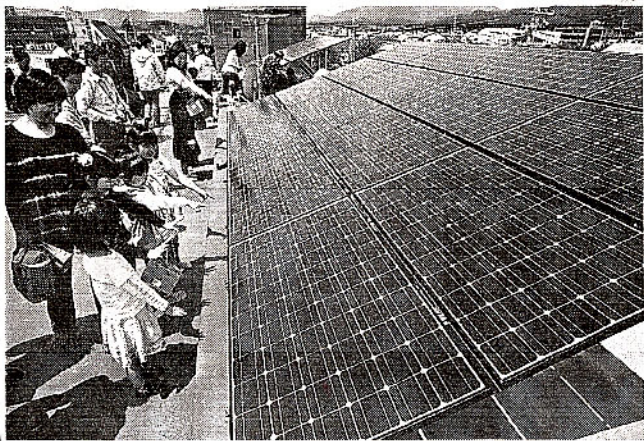
設置したのは、NPO法人「きょうとグリーンファンド」。01年にスタートし、妙林苑で10号機目になった。大きな特徴は二つだ。

一つは、市民から寄付を募る点。ひと口3千円。普段の生活で節電した分を寄せてくださいと呼びかけている。たとえば、未使用時のテレビやエアコンなどのコンセントを抜く待機電力カットで、年間8千〜1万円の節約になるという。

妙林苑の事業費は総額約1200万円。半分近くをNEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)からの補助金で、残りを寄付でまかなった。

二つめは、環境問題を知ってもらう拠点としての役割をなすこと。06年に8号機を取り付けた京都市北区の大宮保育園では、設置前から、グリーンファンドに講師を派遣してもらい、保護者や職員向けに「省エネ」「ごみ削減」などをテーマにした学習会を開いてきた。子どもたちは、男の子しんちゃんがおひさまマンに変身する腹話術を披露、「電気を節約しないと地球がお熱を出しちゃうよ」と語りかけた。

## エコへの関心 地域に波及



妙林苑の屋上に設置された太陽光発電のパネル。裏には寄付をした人の名前や子どもの絵が描かれている。京都市北区で、高橋正徳撮影

今では無駄な電気がついていると、園児が「もったいないなあ」と気付いて、消そうとする。家で母親に「シャワー止めへんといかん」と言ったり、家のベランダにバケツを置いて雨水を集め、花の水やりに使ったりする子どもという。尾崎子園長は「太陽光発電が身近にあることで、省エネや節水の意識もとけ込んだ」と言う。

園内には雨水タンクも設置。夏祭りやバザーでは、わりばしではなく持参したはしや、リユース容器を利用した。地域の人も協力して、ゴミがほとんど出なかったという。グリーンファンドの大西啓子事務局長は「保護者や地域の人への波及効果が大きい」と話す。

がひと目で分かるパネルを掲示。毎月発電量をホームページに記載したり、地元の小中学生との交流会で太陽発電を説明したりしてきた。

REPWは、熊本市の北部病院への設置にも協力した。同病院では、玄間のそばに、発電所のしくみを紹介するカラーパネルを掲示。待合室には発電量の表示パネルを取り付け、患者さんやお見舞いの人もも見てもらっているという。

## 「市民発」全国に150超設置

福岡県宗像市の山あいにある知的障害者施設「玄海はまゆう学園」の屋上にも、72枚の太陽光パネルが輝く。

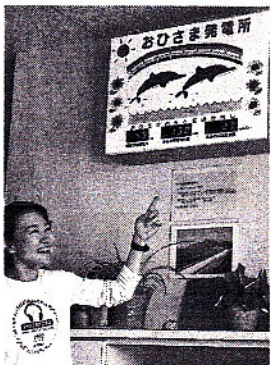
設置したのは、NPO法人「再生社会エネルギー推進市民フォーラム西日本(REPW)」(福岡市)。きょうとグリーンファンドからノウハウを学び、同園に依頼した。同園は、農業や養鶏

など自然の力を借りた生産や就労に取り組んでおり、「環境を大切に」という園の原点に合う」と引き受けた。

事務長の上田浩司さんは「これだけの枚数のパネルでようやく一般家庭の3軒分。発電を見守ることで、電気の大切さを改めて実感できる」。玄間に発電量や二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)削減量

岡山市のNPO法人「おかやまエネルギー」の未来を考える会」も02年に市内の公立保育園に設置した。公民館や小学校で環境の講座を開くなどのサポートを続ける。代表の広本悦子さんは「園児たちが毎日喜んで発電量を棒グラフにつけていってくれます」。11月の2号機設置に向け、募金活動中だ。

市民が共同で作った発電所は、おひさま発電所を含めて全国に150以上ある。リユースショップや古紙回収の売り上げで設置するなどユニークな取り組みも出てきた。NPO法人「気候ネットワーク」(京都市)の豊田陽介さんは「地域に合った方法を工夫するのが面白い。今後も多様化して、増えていくのではないかと話している。



玄海はまゆう学園の発電量とCO<sub>2</sub>削減量を示したパネル。福岡県宗像市で